

学 校 再 編 成 (6)

学校統合に関するその後の進展状況(各種の学校)
(何ら進展していない場合又はあまり進展のなかつた
場合この件に関する諸問題)

該当なし

地方分権についての進展並びに諸問題

特記するものなし

開催された会合

会合名

場所

出席者

討議

所見

日時 昭和 年 月 日

教員再教育

(7)

専門的課題についての教員の会合

免許法認定講習会以外あり
このことについては事務局全体で行っていること
教務課から報告するはず

実験学校の利用

教員職能団体の事業

開催された会合

会合名

場所

出席者

計画

所見

日時 年 月 日

その他の再教育に関する活動

関係機関の協力

生徒会

(8)

生徒協議会の主要な活動

特記事項なし

生徒協議会の主要な計画

クラブの主要な活動

クラブの主要な計画

私立学校 (9)

知事又は議員による学校監督並に指導

特記するものなし

主要な問題

特記するものなし

朝鮮人学校

該当なし

教育の研究並に教員の研修機関
(教育研究所)



1. 教育研究所の組織又は配置

前月に同じ

研究所諮問委員会

2. 教育研究所の主要な活動

留學生願書受付

選考諮問委員会

3. 教育研究のための主要な課程

中学校卒業生職業意識調査

中学校卒業生家庭科意識調査

勤労青年意識調査、合志論調査

小学校理科課内調査

4. 教員の研修のための主要な課程

本系諸生教員認定講習受講

大学・専門学校

(11)

主要な問題

7月10日付(9月9日迄)縣下小・中・高等学校
現職教員の為免許法認定講習会開催さ
れ縣下各大学は講師を派遣する等指導を興
えた

主要な活動及び貢献

更 新 制 (12)
校数、教員、生徒の変更

変更なし

教授された主要な課程

前月と同じ

主要な問題

特記するものなし

定時制学校中主要な活動を行せるもの

特記するものなし

特別な行事 (13)

上記報告以外の学校教育に関する特別な問題に
ついての重要点並びに所見。学校管理、生徒指導、職
業教育、視覚教育、教科課程の研究、教育調査等を含むこと

特記するものなし

社会教育課

(14)

企劃中又は完成せる主要問題.

なし

開発せる新技術

なし

社会教育委員会の仕事

特別専門委員会を設け社会教育の基本
問題を研究中

民主主義に關する成人教育 (15)

課程の内容

- 法律政治(8) 民間情報(0)
- 経済労働(9) 時局問題(10)
- 公衆衛生(13)
- 民間教育(10)

指導者の訓練
 社会教育研究大会を県下の地区で夫々2日間開催し
 社会学級その他の分科会をもちよひプログラム立案の討議
 並びに実習を行つた。

調査せる市町村内の社会学級数 42
 部落(町内)の社会学級数 50

出席者 男(2,058) 女(2,394)

指導方法
 ハウス、フォーラム、レクチャーメソッド等行^{Dissemination}
 を適宜入れ、_{デモクラシー}

効果判定
 効果甚大 社会情勢の理解を深めた

課程に対する地域社会の評判
 好澤、一般教育並に生活改善上資を所望

特種な研究集団のための課程(あれば記入のこと)
 なし。

他の主要な社会教育の問題 (16)
(特に著しい討論会、フォーラム式討議、円卓討論会
視察教育、時事問題に関する市町村民大会等)

267

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

昭和25年8月行事予定

高知縣教育委員会

月日	行 事	場 所	備 考
8月/日	免許表認定講習会	県下19会場	7月10日より9月9日まで

全力をあげて講習会に当るため他に行事なし

高知縣教育委員会

Mr. Matsumura
Mr. Hadas
File

二五教度第四九號

昭和廿五年六月二十八日

高知縣教育委員會教育長

四國民事部教育課長殿

六月分行事報告について

高知縣教育委員會六月分行事を報告します

記

一 英文

二 通

一 邦文

一 通

高知縣教育委員會

REC'D C.E.

DATE 29 June 1950

昭和26年6月事業報告書

高知縣教育委員会

教育委員會

(1)

會合數 / 回

定例會 昭和 25 年 6 月 6 日

臨時會 昭和 年 月 日

討議された重要問題並びに決議されたもの

- 1. 六三建築国庫補助配分については原案を承認する
- 2. 僻地指定については原案を承認する。

~~決議の主要なもの~~

主催又は出席せる會合 會合名

場所 日時 昭和 年 月 日

計画

所見

事務局

(2)

現在の機構と職員数
(各職種と権限)

課名	課長名	課員数
庶務課	安岡 登志	28 名
庶務課	楠瀬 洋吉	31 名
調査課	細木 真一郎	11 名
指導課	安岡 健次郎	17 名
社会教育課	西村 正男	27 名

機構又は職員の変更

その他の報告

教育長

(3)

緊急な教育目標 (経過を附すること)

- (1) 六三建築費補助金の配分について
五月二十四日文部省において本県に対する補助金割当の内訳を以て
よつて縣下各市町村への割当案を作成、六月六日の定例委員会において割当
を決定、その後文部省に提出すべき書類の作成を急ぎ、20日文部省に提出した。
- (2) 教員の新免許法に伴う再教育実施の具作案を作成し、六月五日文部省に提
出、詳解を受け、その後これに関する各般の準備に多忙を極め、準備は着々進行
中である。
- (3) 六月例会に提出すべき追加予算案の作成並に、縣各町との予算折衝
先きの国会において地方税法が通過しなかつたため、縣の財政は確固たる見通し
が立たず、追加要求の殆んど全部は八月例会以後に持ち越しの情勢で接
衝は難行を呈して居る。特に再教育実施に伴う予算折衝は難澁である。

主要な活動

- (1) 5月20日土曜 全国教育長協議会に出席、六三建築費補助金について
文部省と接衝、27日帰庁
- (2) 6月7日 縣立中芸高等学校 独立並に落成式に出席
- (3) 6月16日 徳島縣鳴門市において開催された四国四縣教育長協議会
に出席

主催又は出席せる会合 会合名

日時 昭和 年 月 日 場所

出席者

計画

所見

- 1. 六三建築補助金の各市町村への配分については、刻々決まらぬ
の事勢は、順調に進んで居る。
- 2. 新免許法による教員再教育の計画は、極めて複雑多岐に亘り、事勢尚
職員は多忙を極めつゝある。
- 3. 予算の折衝については、いつしなから教育委員会に何等の財政権なきため、備前は
極めて多い。このようなことでは、教育に対する委員会の自主権はいつになれば確
立することであろう。

教務課

(4)

學校財政

予配額の概算

提案又は議決された追加予算

6月期合提案	追加予算
小学校費	9,468,000
中学校費	6,302,000
高等学校費	2,389,000
走動高校費	785,000
通信教育費	11,000
音楽学校費	229,000
子校管理費	24,033,000
子校維持費	100,000
教育諸費	
(高田高専) (高田高専) (高田高専)	966,000
(高田高専) (高田高専) (高田高専)	
計	43,313,000

指導課

(5)

指導主事の数

組織上の配置の方法

前月に同じ

指導主事嘱託を三名設置するに六月追加予算に
計上したか通らなかつた

主要な活動 (学校視察、教員会議、特別な教科研究
会、実験学級等)

特記するものなし

教育上の基準の実習の改善に貢献した主要な事項

なし

視察した教育実習の主要なもの

なし

主催した会合名 展示会 講評(昭和26年使用教科書)

日時 六月五日、二十日、場所 25会場

出席者 全教員参加

計画

所見

会合名 保健体育研究会

日時 六月三日より二十日、場所 10会場

出席者 各会場 約70名参加

計画

学校の保健計画の樹立
保健体育の指導要領の傳達、研究

所見

学校再編成 (6)

学校統合に関するその後の進展状況(各種の学校)

(何等進展のない場合又はあまり進展のなかつた場合この件に関する諸問題)

持地がわつたし

地方分権についての進展並に諸問題

持地がわつたし

開催された会合	会合名				
場所	日時	昭和	年	月	日
出席者	/				
計画					
所見					

教員再教育

(17)

専門的課題についての教員研究会
特記す所のなし

実験学校の採用
特記す所のなし

教員職能団体の事業
特記す所のなし

開催された会合名 保健体育研究会
日時 6月3日より20日まで 場所 10会場
出席者 各会場各約70名
計画 各校の保健計画の樹立
保健体育の指導要領の備忘研究
所見

ホム700江外
研究会(家庭科)
佐川高校(文部省
実地学校)

100名
家庭科の先生のみ
ならず各学校の教
員多数参加した

24年度のホム700江
外の結果発表

今後運営する為の
研究討議

スニフト、ヤンその他の
設備の研究の見学

その他の再教育に關する活動

1) 学校研究会の準備
千葉会場に指導主事研究授業担当者に参加して
連絡研究をした。(6月/2日より/7日まで)
C.I.E. Miss. Absose への特に指導をうけた。(6月/9日)

関係機関の協力
特記す所のなし

生徒会

(8)

生徒協議会の主要な活動

特記すべきものなし

生徒協議会の主要計画

特記すべきものなし

クラブの主要な活動

特記すべきものなし

クラブの主要な計画

特記すべきものなし

私立學校

(9)

知事又は議員による學校監督並に指導

5冊あり

主要な問題

5冊あり

朝鮮人學校

該3冊あり

10.

教育の研究並に教員の研修機関
(教育研究所)



1. 教育研究所の組織又は配置

・前月について

2. 教育研究所の主要な活動

全国教育研究所連盟協議会を席一 渡田謙 氏 10. 25. 26. 27. 研究
於静岡県伊東市、一 4日

3. 教育研究のための主要な課程

複科教育調査連絡並に研究会一 松生原校
専科系各研究協議会一 森村、甲伊町

4. 教員の研修のための主要な課程

「新しい心理学」について女子大岡本榮長を中心にして研究会 (全研発)

大學專內學校

(11)

主要な問題

高知大学教育部は臨時教員養成課程(普通)設け
54%の小中教員養成士を養成(同上)計222名

主要な活動又は貢献

特記なし

定 時 制

(12)

校数、教員、生徒の変更

なし

教授された主要な課程

普通科、農業科、商業科、工業科、水産科、芸術科

主要な問題

特記なし

定時制学校中主要な活動をするもの

特記なし

特別な問題

(3)

上記報告以外の学校教育に関する特別な問題についての要旨並に所見、学校管理、生徒指導、職業教育、視覚教育、教科課程の研究、教育調査等を含む。

特別な事項なし

(25.6)^{年 月}



社會教育課

✓4)

企劃中又は完成せる主要問題
なし

開発せる新技術

なし

社會教育委員會の事業

- 1. 社會教育の根本方針につき専門委員選考
- 2. 社會教育研究大会の实施内容の審議
- 3. 東に杯本県誘致につき、予算獲得には、教育委員会、県議会、文教委員会の協力を要す

(6月分)

民主主義に関する成人教育

(15)

課程の内容

- 法律政治 (5)
- 民間情報 (0)
- 経済労働 (6)
- 時事問題 (7)
- 公衆衛生 (10)
- 民間教育 (7)

指導者の訓練

社会等級研究発表会にて香美郡各町村、^A本報指導者
 指導者の訓練につとめた。
 (6月9日付報告の分)

調査せる市町村内の社会学級数 35
 音落(町内)社会学級数 42

出席者 男(1809)女(2147)

指導方法

パネル、フオラム、レクチャーメソッド、等で行い、レクリエーションを適宜入れる。(紙芝居)

効果判定

極めて印象的の効果甚大。

課程に対する地域社会の評判

生活向上のため有効かとの評判あり。
 課程は生活に直結するものが興味深い。

特種な研究集団のための課程(あれば「記入のこと」)

字)

他に主要な社会教育の問題

(6)

(特に著しい 討論会、フォーラム式討議、円卓討論會、
視覚教育、時事問題に関する市町村民大会等)

著しいものなし。

昭和25年7月行事予定		高知縣教育委員会	
月日	行 事 名	場 所	備 考
7月1日	免許法認定講習事務打合せ開始	縣下19地区	7月8日まで
	健康教育指定研究発表会	久和小学校	
2	勤労者陸上選手権 縣予選	追手前高等学校	
3	第四回社会教育研究大会開始	縣下4会場	7月8日まで
	高知縣青少年指導連絡協議会	社会教育課	
4	現職教育三者協議会	縣教育組合	
	進教育委員会7月例会	中央図書館	
8	認定講習講師打合せ	全 上	
10	免許法認定講習会開始	縣下19会場	9月15日まで
13	社会教育委員会	中央図書館	
15	青年指導者地区別講習会	高知市第六小学校	7月16日まで
高知縣教育委員会			
7月19日	四回四縣社会教育課長会議	徳島市	7月20日まで
21	青年指導者地区別講習会	縣下7会場	7月30日まで
25	四回四縣青少年係官会議	高松市	7月26日まで

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

	認定講習講師打合せ	上	
10	免許及認定講習会開始	縣下19会場	9月29日まで
13	社会教育委員会	中央図書館	
15	青年指導者地区別講習会	高知市第六小学校	7月16日まで
高知縣教育委員会			
7月19日	四國四縣社会教育課長会議	徳島市	7月20日まで
21	青年指導者地区別講習会	縣下7会場	7月30日まで
25	四國四縣青少年係官会議	高松市	7月26日まで
7月中旬	スポーツバジテスト判定員養成講習会		
中旬	レクリエーション傳達講習会		

MR. MATSUURA
MR. WADA Wada
FILE

昭和25年5月事業報告書

高知縣教育委員会

REC'D C.E.

DATE _____

教育委員会

(1)

會合数 / 回

定例会 昭和25年5月6日

臨時會 昭和 年 月 日

討議された重要問題及び決議の主要なもの

1. 教取員の三月末昇給については協議会に於て決定した準則によつて行う。
2. 小中学校教員旅費郡市割当基準については原案を承認する
3. 現取教育計画については原案を承認する。
4. ~~事務~~事務取員の増俸については原案を承認する。

主催又は出席せる會合 會合名 教育委員と事務指掌課員及び社会教育課員との懇談會
 場所 社会教育課 日時 昭和25年4月25日
 計画

↑
~~指掌~~指掌課並に社会教育課の行事等について

事務局

(2)

現在の機構と職員数
(各職種と権限)

課名	課長名	課員数
庶務課	安岡 登志	28 名
庶務課	楠瀬 洋吉	30 名
調査課	細木 真一郎	9 名
指導課	安岡 健次郎	15 名
社会課	西村 正男	27 名

機構又は職員の変更

なし

その他の報告

なし

教 育 長

(3)

緊急な教育目標 (経過を附すこと)

六三建築補助金配分について文部省に陳情
 四月二十日より三十日まで上京文部省係官に対し新制中学校
 建築費補助金の各縣への配分について高知縣の特殊事情を説
 明し特別な考慮を要望した。

主要な活動

1. 東京之出張 (4月20日-30日)
2. 松山における四国教育長会議並に教育委員四国協議会に出席 (5月11日)
3. 四国地区教育研究所聯盟連絡協議会に出席 (5月1日)
4. 四国調査課長協議会に出席 (5月2日)
5. 高岡郡松葉川中学校落成式に出席 (5月14日)
6. 高岡郡東又村及び井田村中学校、小学校視察 (5月15日)

主催又は出席せる会合 会合名

日時 昭和 年 月 日 場所

出席者

計画

所見 過去約二年に亘つて中学校の位置問題で紛擾を
 続けて居た、松葉川中学校の位置が圍場に解決し
 新しい校舎の建築落成を見事に至つたことはまことに喜ばし
 く思う。

教務課

(4) 本

學校財政

昭和25年度当初提案並改議決予算

項	目	提出予算	議決予算	備考
3	小学校費	303,576,000	279,674,000	
	1.職員給	247,538,000	225,419,000	
	2.諸手当	45,085,000	43,743,000	
	3.旅費	10,953,000	10,512,000	
4.	中学校費	199,068,000	190,125,000	
	1.職員給	158,507,000	150,053,000	
	2.諸手当	33,856,000	33,781,000	
	3.旅費	6,705,000	6,291,000	
5.	高等学校費	104,636,000	95,912,000	
	1.職員給	66,005,000	66,005,000	
	2.諸手当	15,539,000	15,539,000	
	3.旅費	3,092,000	3,092,000	
	4.需用費	20,000,000	11,276,000	
6.	定時制高専校費	29,170,000	29,170,000	
	1.職員給	20,847,000	20,847,000	
	2.諸手当	4,689,000	4,689,000	
	3.旅費	1,434,000	1,434,000	
	4.需要費	2,200,000	2,200,000	
7.	通信教育費	1,150,000	1,150,000	
	1.職員給	346,000	346,000	
	2.諸手当	532,000	539,000	
	3.旅費	65,000	65,000	
	4.需要費	200,000	200,000	
8.	盲聾学校費	5,492,000	5,492,000	
	1.職員給	4,161,000	4,161,000	

高専校費は別表に提出する

4. 需用費	20,000,000	11,276,000
6. 定時制高専校費	29,170,000	29,170,000
1. 職員給	20,847,000	20,847,000
2. 諸手当	4,689,000	4,689,000
3. 旅費	1,434,000	1,434,000
4. 需要費	2,200,000	2,200,000
7. 通信教育費	1,150,000	1,150,000
1. 職員給	346,000	346,000
2. 諸手当	532,000	539,000
3. 旅費	65,000	65,000
4. 需要費	200,000	200,000
8. 盲聾学校費	5,492,000	5,492,000
1. 職員給	4,161,000	4,161,000
2. 諸手当	930,000	930,000
3. 旅費	126,000	126,000
4. 需用費	230,000	230,000
5. 盲聾補助	45,000	45,000
11. 学校管理費	6,751,000	5,151,000
1. 養老施設旅費	136,000	136,000
2. 定時制並行通信教育振興費	105,000	105,000
3. 学校視察費	1,155,000	1,155,000
4. 学校管理指導費	108,000	108,000
5. 学校管理諸費	5,247,000	3,647,000
12. 学校施設管理費	1,500,000	1,500,000
1. 衛生管理費	300,000	300,000
2. 学校給食管理費	1,200,000	1,200,000
13. 教職員福利費	18,682,000	17,233,000
1. 教職員福利費	18,432,000	16,983,000
2. 教職員結核予防費	250,000	250,000
合計	670,025,000	625,407,000

指導課

(5)
A.

指導主事の教名
組織又は配置の方法

前月に於て

主要な活動(学校視察、教員会議、特別な教科研究集団、
実験学級等)

別紙に記載

教育上の基準又は実習の改善に貢献した主要事項

なし

視察した教育実習の主要なもの

なし

主催した会合名

日時

場所

出席者

計画

所見

指導課

(5) B

主要な活動

- (1) 昭和26年度使用教科書展示会開催準備 (5月1日-5月20日)
- イ. 展示要項の制定
 - ロ. 各出版会社へ教科書見本発送の手配
 - ハ. 展示会場校24校決定と本の西列、陳列方法等に関する打合せの開催
 - ニ. 小学校、中学校、高等学校、各教科書目録の印刷と発送
- (2) 教科書採擇審議会の開催 (5月17日)
- イ. この審議会は高知県教育委員会の採擇教科書を決定す
 - ロ. 委員は70名 (指導主事を含めて各地区役員代表者より構成)
 - ハ. 教科別の部会を設けておる。
 - ニ. 5月17日は採擇に関する基本方針の決定と今後の具体的審議方法の決定
- (3) 初等教員研究集会の開催準備
- イ. 研究集会運営委員会の設置 (5月15日)
 - ロ. 委員 40人 (指導主事10名、
外に校長、教員、担当者、大学 R.T.A 等の代表者)
 - ハ. 研究集会の運営についての立案を行う。
 - ロ. 課内協議会の開催 (5月16日)
 - イ. 研究集会の予算についての基本的考案の決定。
 - ロ. 担当者への委ねの決定、さき市昭和小学校に確定。
 - ハ. 担当者に対する指導予法の決定。
 - ハ. 担当者 昭和小学校との打合せ (5月16日)
 - ニ. 四国四県企画委員会の開催 (5月16日)

学校再編成 (6)

学校統合に関するその後の進展状況 (各種の学校)
(何等進展のなかり場合又はあまり進展のなかり場合この件に
関する諸問題)

特記するものなし

地方分権についての進展並に諸問題
従来高知縣立安芸高等学校分校であった中芸分校が地許の要望に
より、高知縣立中芸高等学校として独立した。

開催された会合名

場所

日時

計画

所見

教員再教育

(7)

専門的課題についての教員の會合

なし

実験學校の利用

なし

教員職能団体の事業

なし

開催された會合

なし

その他の再教育に関する活動

なし

(8)

生徒會

生徒協議会の主要な活動

なし

生徒協議会の主要な計画

なし

クラブの主要な活動

なし

クラブの主要な計画

なし

私立学校

(9)

知事又は議員による学校監督並に指導

特記すものなし

主要な問題

特記すものなし

朝鮮人学校

該書なし

教育の研究並に教員の研修機関

(教育研究所)

1. 教育研究所の組織又は配置

前月に全し

2. 教育研究所の主要な活動

茅2回縣外場学生発表会(4月24日)全福学生、研究員、其他

四国地区教育研究所連監協議会(5月1月2日)

「研究報告」誌編輯委員会

協力学校決定

3. 教育研究のための主要な課程

研究協議会(5月8日)全研究員一研究所の運営機構内定

会上(5月15日) 〃 一生徒指導について

4. 教員の研修のための主要な課程

なし

大学専門学校

(11)

主要な問題

主要な活動又は貢献

小中学校助教の資質向上のため、国立高知大学教育学部において
臨時養成課程を開設（5月23日入所）した。

定時制 (2)

校数、教員、生徒の変更

校数 { 本校 併設 13校
 分校 21校 (香南分校廃止)

教員数 185

生徒数 2841

教授された主要な課程

普通、農業、工業、商業、家庭、水産

主要な問題

分校の教室不足、新建築の困難

定時制学校中主要な活動をなせるもの

宇佐分校 — 普通科増設の爲の啓蒙運動

大分分校 — 拡張満座

特別な問題行事

(13)

上記報告以外の学校教育に関する特別な問題についての要点並に所見、学校管理、生徒指導、職業教育、視覚教育、教科課程の研究、教育調査等を含むこと。

はし

社会教育課

(14)

企画申又は完成せし主要各問題

昭和二十五年年度事業計画完成

開発せし新技術
なし

社会教育委員会
の事業

5月11日定例会議開催

1. 欠員中の副委員長選挙
2. 昭和二十五年年度事業計画案の審議
3. 青少年対策専門委員の選考

民主主義に関する成人教育 (15)

課程の内容

法政政治学 3	厚生 23
社会労働学 30	民間教育 35
公衆衛生 21	時事問題 10

指導者の訓練

なし

調査統計

調査せる市町村内の社会学級数 / 35
 都府(市内)社会学級数 / 05
 出席者 男(4875)女(7415)
 指導の方法

講義、映画、幻灯、対談

効果の判定

時事問題に関し、関心が増す。
 会議の持ち方もよくなりました。

課程に対する地域社会の評判

好評、成人教育の重要性を強調するもの多し

特種な研究集団のための課程(あるいはこれら)

なし

その他主要な社会教育の問題 (18)

(特に著しい討論会、フォーラム式対談、円卓討論会、
視覚教育、時事問題に関する市町村民大会等)

特別に

昭和25年6月行事予定		高知縣教育委員會	
月日	行 事 名	場 所	備 考
6月1日	口腔衛生週間開始		
5	公立學校共済組合事務担当者研修会	東京都	6月10日まで
	第三回県青少年指導連絡協議会	社会教育課	
6	教育委員会7月定例会	教育長室	
7	社会教育委員会	図書館会議室	
10	青年教育連絡協議会	民生館	
	県立図書館開館式		
13	僻地指定地決定		
17	第四回青年指導者地区別講習会準備会	高知市	
	職場体育振興協議会	安芸庁	
25	県下教員体育大会	追手前高校丸の内高校 土佐第一高校	
高知縣教育委員會			
30	社会教育研究大会	窪川庁	
31	全上	全上	

6月上旬一旬 教科用圖書展示会

17 第四回青年指導者地区別講習会準備会

高知市

職場体育振興協議会

安芸庁

25 県下教員作育大会

追手前高校丸の内高校 土佐第一高校

高知縣教育委員会

30 社会教育研究大会

窪川庁

31 全上

全上

6月上旬-中旬 教科用圖書展示会

6月下旬 清澤教育に関する研究発表会 (久礼川学校、窪川十子校)

6月全期間中 1. 現職教育計画周知会 (県下各地区)

2. 学校給食会設立地区協議会

3. F=セフ講習会 (安芸郡、幡豆郡、高岡郡)

4. 歯科検診状況、学校身体検査状況視察

To: Matsumura
Wada OK

File

二五教度第 四九號

昭和二十五年 四月二十八日

高知縣教育委員會 教育長

四國民事部 教育課長殿

四月行事報告について

昭和二十五年四月行事を左記のように報告いたします。

記

一 英文

二通

一 邦文

一通

REC'D C.E.

DATE 29 April 50

高知縣教育委員會 事務局

昭和25年4月分行事報告書

高知縣教育委員會

教育委員會

(1)

會合數 / 回

定例會 昭和25年4月2日

臨時會 昭和 年 月 日

討議された重要問題並に決議されたもの

- 1. 小學校設置認可並に中學校獨立認可及び公立各種學校設置認可については原案を承認。
- 2. 昭和25年度始め教員異動については原案を承認。
- 3. 四月縣令に提出すべき追加予算案については原案を承認。

決議の主要なもの

主催又は出席せる會合 會合名 文教常任委員との懇談會

場所 縣議會議員控室 日時 昭和 25年4月12日

計画 追加予算について

所見

事務局

(2)

現在の機構と職員数
(各職種と権限)

課名	課長名	課員数
庶務課	安岡登志	28 名
庶務課	楠瀬洋吉	30 名
調査課	細木真一郎	9 名
指導課	安岡健次郎	15 名
社会教育課	西村正男	27 名

機構又は職員の変更

なし

その他の報告

なし

教育長

(3)

緊急な教育目標

天皇陛下巡幸に対する奉迎事務 3月25日にて無事に終る

小中高等学校の教員異動

小中学校、中学校の教員の定員に於て概ね、議会との交渉の妥結が済み、それがために四月二日の委員会上提案決定した。昨年より五月半ばかりおくれなのは残念に思う。

主要な活動

1. 4月6日 社会教育功労者 川田豊太郎氏表彰式に参列。
場所 高岡郡佐川町

2. 4月6日 小中学校校長表彰式に参列
場所 安芸郡赤野村 村立赤野小学校

3. 4月8日 高等学校校長会議
場所 高知市小津高等学校
参会者 県下高等学校校長全員

所見 教員異動は全部で2000名を越ゆる多数になつた。異動の決まは昨年よりおくれ、四月になつたことは遺憾に思うが、異動の基本方針は大体おこなひ満足すべき程度に実現する事が出来たと信ずる
現す

教務課

(4)

学校財政

特記す所のなし

提案又は議決された追加予算

なし

指導課

(5) A.

指導主事の数 ノノ名 (嘱託を含む)

組織又は配置の方法

各指導主事と専門教科別、教育上の事務担当部門別とし、複式教育、生徒指導、^科教課程、職業教育、学校図書館(視聴覚を含む)教育評価、特殊教育、保健教育に分類して云、副を置く。各部門の担当者には特にその部門については専門的研究をなす。

主要な活動(学校視察、教員会議、特別な教科研究修団、実践学級等)

学校訪問 33校

会議 109回

小中学校ワークショップに関する、指定校に関するの、
学校衛生祖学員協議会
調査計画打合せ、現職教育に関するの
青少年問題に関する特別学級に関する等

職業講習 6回

教員調査

本プロジェクト協議会

教員現職教育打合せ

教科書展示会打合せ

研究発表 4校

教育上の基準又は実習の改善に貢献した主要事項

職業科の講習を県下6箇所で開催し、職業家庭科の伝達講習をなす。

体育学習指導要領の説明、研究会を県下23校で行う。

(5) B.

視察は教育実習の主要なものの

佐賀県唐津高校 生徒会

熊本県熊本市 新校、放送教育、給食設備及び実際

広島大学 附属校 理科教育、生徒会

主催は各会

日時	場所	事項
25年 4月4日	市 第六小学校	小学校ワークショップ準備委員会 市内小学校長、教団文化部長
4.5	衛生部長室	学校衛生視学員協議会 各保健所長
4.10	会議室	学力検査反省会 問題作成委員、教団文化部長、指導主事
4.11	市役所	研究集会古番校において 市教育課員、指導主事

学校再編成

(b)

学校統合に関するその日の進展状況(各種の学校)
(何等進展のない場合又はあまり進展のなかつた場合この
件に関する諸問題)

特記するものなし

地方分権についての進展並に諸問題

特記するものなし

開催された会合名 会合場所

日時 昭和 年 月 日

出席者

計画

所見

教員再教育 (7)

専門的課題についての教員会合

職業家庭科についての講習会 6回

H.P協議会 1回

実験学校の利用

二十四年度研究指定校発表会をその分野に亘り開催

- { 放送教育
- { 視聴覚教育
- 体育

教員職能団体の事業

教員と学生発表会 -- 教育研究所

開催した会合 追手前各校 社会科講習会 教員一般
 全上 職業家庭科講習会 教員一般

長岡郡大篠小学校小情操教育
 吾川郡伊那小学校放送教育、視覚聴覚教育 } 地区教員
 高岡郡須崎、樽原地区23校体育

その他の再教育に關する活動

なし

関係機関の協力

県教員組合 教育委員会事務局各課、教育研究所
 と密接に協力

(8)

生徒会

生徒協議会 — 主要な活動

各学校共未だ準備期あり。

- (1) 役員選挙
- (2) プログラムの討議
- (3) 規約の検討
- (4) 昨年度の反省

生徒協議会 — 主要な計画

- (1) 高等学校指導係主任会議
- (2) 高等学校生徒会代表者会議
- (3) 中学校、生徒会代表者、指導係教師会議
- (4) 青少年問題対策懇談会
- (5) 県下小、中、高校生の活動計画及規約取りまとめ

クラブ — 主要な活動

- (1) クラブの編成
- (2) プログラムの討議
- (3) 昨年度の反省

クラブ — 主要な計画

各学校活動状況調査

私立学校

(9)

知事又は議員による学校監督並に指導

特記するものなし

主要な周知

1. 地元の要望により昭和二十五年四月一日附
「学校法人地藏寺中学校」が土佐郡地藏寺村に開設された。
2. 私立中学校、高等学校の中には入学生徒等が募集人員に達せず
経営に困難を感じておる学校あり。将来、私立学校の助成に於て
一層努力する必要がある。

朝鮮人学校

該るなし

教育の研究並に教員の研修機関

(教育研究所)

1. 教育研究所の組織又は配置

所長一 経営 主事(1)一 庶務 会計 庶一 庶務

研究員 12名

内訳	種別	人数	備考
	種別基礎的研究	1名	
	中学校教科書科の研究	2名	勤労青年教育 2名 宮知物史考史 1名 教育基礎内題 3名
	科を教育の研究	2名	
	カリキュラムの研究	1名	
	図書館の研究	1名	

2. 教育研究所の主要な活動

昭和25年の方勤留学生派遣

数内 7名 数外 5名

研究員入所

12名

加2回 勤労青年学生発表会

3. 教育研究のための主要な課程

研究員・研究計画協議会

4. 教員の研修のための主要な課程

(11)

大學専門学校

主要な問題

国立高知大学、私立女子大学共募集人員定数に達せず
了らぬ第二次学生募集を行う。

主要な活動又は貢献

特記すべしなし

定 時 - 制

(2)

校数、教員、生徒の変更

変更があるが目下調査中。翌月報告予定

授業される主要な課程

普通科、農業科、商業科、工業科、水産科、家庭科

普通科、農業科、家庭科、工業科、商業科、水産科

主要な問題

特記すものなし。

定時制学校中主要な活動内容を

特記すものなし

特別な問題

(13)

上記報告以外の学校教育に関する特別な問題についての要旨並に所見、学校管理、生徒指導、職業教育、視覚教育、教科課程の研究、教育調査を含め

特別な記事を

社会教育課

(14)

企画中又は完成せし主要問題

1. 昭和二十五年年度予算決定
2. 二十五年を事業実施計画立案

開発せし新技術

課内における各係係員の有機的連絡のしと、社会教育を強力に推進するため、

1. 係長会議、
2. 課内連絡会議を毎月例会を持つ。

社会教育委員会の事業

4月/3日 定例会議開催

議内事項

1. 社会教育委員を市町村に設置し一層活潑な活動を喚起す具体的方法如何。
2. 成人教育(社会学級)の振興策如何
3. その他意見の交換

民主主義に関する成人教育

(15)

課程の内容

法律政治 71
 経済労働 20
 公衆衛生 15
 厚生 22
 民間教育 120

指導者の訓練

なし

調査せし市町村内の社会学級数 141

部落(区内)社会学級数 107

出席者 男(4960) 女(7440)

指導方法

講義 映画 幻灯 演説

効果判定

効果甚大 民主主義の技術 特になんか

課程に対する地域社会の評判

好評 民主主義の技術が体得されてよいという
声が高い。

特種な研究集団のための課程(あれば記入のこと)

他に主要な社会教育の肉題

(16)

(特に著しい討論会、フォーラム式討議、円卓討論会
視覚教育、時事問題に関する市町村大会等)

婦人週間中次の行事を行った。

・ 4月11日

① 結婚改善座談会を開催し、結婚改善の実践者集合、
経験、抱負を語り合いこれを録音して高知放送局
から放送した。

② 週間最後の四月七六日には「婦人に感謝の日」として
次の行事を行った。

(a) 家庭の婦人には、特にこの日、男子が炊事、洗
濯等をして、婦人を、修養、娯楽等に一日を解
放し、婦人に感謝をした。

(b) これがため、宣傳ビラを一万枚印刷配布して
縣下全般に徹底を行った。

高知縣教育委員會五月行事予定

事項

場所 備考

一 スポーツ界のレクリエーション講習會
公立高等學校事務職員研究講習會
小學校長會結成會
職業家庭講習會

上牛山村白石小學校

一日—二日

二 優良青年團表彰式
青年指導者講習會補助講師協議會

東津野校
城西中學校
教育長室

水道町徳屋旅館

四日—七日

三 青年指導者講習會、中央講習會
職業家庭講習會
教育委員會、五月之例会
現職教育計画、三月末身給案提出

徳屋旅館
樽原校
教育長室

四 中國、四國、首及不龍等學校運管協議會
職業家庭講習會
職場体育の普及及奨励対策協議會

高知盲聾學校
安芸町

六日—七日

五 県下春季高技野球大會並四國地区大會予選
職業家庭講習會
職業家庭講習會

伊野小學校

一日—四日

六 中學校指導係主任、生徒會代表會議予定

市設球場
西豊永村
田井校

田井校

七 職業家庭講習會
町村体育振興協議會
マツカーサー杯爭奪庭球果予選

高知縣教育委員會

八 職業家庭講習會
職業家庭講習會
職業家庭講習會

般产校
大篠小學校

九 職業家庭講習會
職業家庭講習會
職業家庭講習會

十 職業家庭講習會
職業家庭講習會
職業家庭講習會

各地区

五日—二〇日

十一 職業家庭講習會
職業家庭講習會
職業家庭講習會

各地区

五日—二〇日

	<p>市設球場 西豊永校 田井校</p>
<p>一〇 県下春季高校野球大会並四国地区大会予選 職業家庭講習会</p>	<p>一〇日—十四日</p>
<p>一一 職業家庭講習会</p>	<p>高知縣教育委員會</p>
<p>一二 中學校指導係主任、生徒會代表會派予定</p>	<p>大篠小學校</p>
<p>一三 職業家庭講習会 竹村体育振興協議会</p>	<p>一五日—二〇日</p>
<p>一四 マツカーサー杯爭奪庭球県予選</p>	<p>十川校</p>
<p>一五 保健体育講習会</p>	<p>中林校</p>
<p>一六 職業家庭講習会</p>	<p>宿毛校</p>
<p>一七 職業家庭講習会</p>	<p>市設球場</p>
<p>一八 高知縣こども音楽祭</p>	<p>二〇日—二一日</p>
<p>一九 職業家庭講習会</p>	<p>清水校</p>
<p>二〇 僻地に関して教組と懇話会</p>	<p>中央図書館用館</p>
<p>二一 〆、下、A 社会學級 部市別共勵会を开始の予定</p>	<p>共済組合連合会並査査 (県内)</p>
<p>二二 〆中甸 青年演劇脚本募集要項発表、中央図書館用館</p>	<p>学校歯科衛生連絡協議会 (千葉縣)</p>
<p>清潔教育実践強調運動</p>	

高知縣教育委員會

3. 下旬

県下教員体育大會 (追手前高校)

郡市体育主任者協議會

中国四国給食ブロック會議 (徳島市)

共済組合事務担当者全国會議

4. 月上旬—下旬

二三セブ調理傳達會議

高知市、吾川、杵美、土長

題目 4月のPTA活動報告

宛名 四國民事部教育課 青年係 夕比ノス教

1. 本月中のPTAの特筆すべき発展(初寸)

付

2. 重要な会議

付

3. 備考

付

報告者 高知縣教育委員会
社会教育課長

西村正男



係

PTA係

前島喜藏



公民館に於ける社会等級 (4月分)

公民館数(55) 前回報告後開設された公民館数を
開設準備中のものを除く 2

公民館活動力の在りしものとその施設館数

- 法律政治 19)
- 経済労働 (5)
- 公衆衛生 (12)
- 厚生 (5)
- 民間教育 (24)

公民館に2行はれた優秀な702プログラムの一例

存し

報告者 高知縣教育委員会

社会教育課長

西村正男



係

社会等級係

前島喜藏



昭和二十五年五月行事予定

教育委員会 教科力課

行事

日	曜	月	日
一	月	二	火
二	火	三	水
三	水	四	木
四	木	五	金
五	金	六	土
六	土	七	日
七	日	八	月
八	月	九	火
九	火	十	水
十	水	十一	木
十一	木	十二	金
十二	金	十三	土
十三	土	十四	日
十四	日	十五	月
十五	月	十六	火
十六	火	十七	水
十七	水	十八	木
十八	木	十九	金
十九	金	二十	土
二十	土	二十一	日
二十一	日	二十二	月
二十二	月	二十三	火
二十三	火	二十四	水
二十四	水	二十五	木
二十五	木	二十六	金
二十六	金	二十七	土
二十七	土	二十八	日
二十八	日	二十九	月
二十九	月	三十	火

公立高等学校教職員研究講習会

現職教育計画 三月末昇給査定教育委員会提出

主事会

冬教員事務所より高等学級三十四年度経理状況調査開始
並に二十五年度事務計画立案

併地視察

① 子供給食会設立準備会(稲毛)

② 併地視察

③ 通付教育生事務自木

④ 共済組合運営監査(稲毛)

⑤ 学校衛生委員会協議会(千草)

⑥ 清潔教育委員協議会

⑦ 中三田給食センター協議会(稲毛)

⑧ 若狭組合事務担当者会

⑨ 下合議(稲毛)

⑩ 指導員会

高知縣教育委員会

工(市) 二(佐) 調(川) 理(工) 運(部) 全(部) 福(美)

指導課

10	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日	
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	曜	
			保健体育講習会(各邑)			中学校指導主任生徒会代表会(平定)				中学校指導主任生徒会代表会(平定)		山口、山口盲及聾学校進宮協議会 (高知縣立山口盲学校)				小学校長会結成会		摘要	
職業講習(十川)			中学校指導主任生徒会代表会(平定)	職業講習(般戸)			職業講習(西豊、水)			職業講習(宮戸)		職業講習(田舎)				職業講習(橋原)			

4月行事予定一覽表

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
	(日)	(土)	金	木	水	火	月	(日)	土	金						
		職業家庭講習会(池川)	四国四縣看護教員連絡協議会(長浜校)	職業家庭講習会(下八川)		教育委員と「根心談会(教育長室)	課内研究会、社会科講習会(追手前中学校、午前九時)		中学校長会常任委員会(十時)	特別学級懇談会(才六小学校)						
			四国大会(追手前高校)	学校放送研究会(伊野小学校)	第四小学校	職業家庭科講習(東又)			(城辺)	職業家庭科講習(須崎)						

昭和二十五年三月行事報告書

高知縣教育委員會

Rec'd 30 Mar 1950

高知縣教育委員会四月行事予定

日時

行事

場所

備考

三月二日

第二回花道展覧会
教育委員会定例会

市議事堂
教育長室

三月二日了閉催

四月

文部省主催青年指導者講習会

福岡市

(第一回) 四月一十日

八月

二十五年年度運営協議会
南國博覧会
四国四縣対抗卓球大会

高知一高
土佐一高
南博会場内

九月

柔道大会
剣道大会
高知入学生志願者選抜の結果調査
婦人週間

十日一十六日

十一月

文部省主催青年指導者講習会

(第二回) 十一月一十八日

十一月

立事会
陸上競技審判養成講習会

追手前高校

十五日一十六日

十二月

定時制通信教育主事会

十二月

青年演劇脚本募集要項発表

高知縣教育委員会

三月

ミス・ジョーンズ社会教育係と懇談

三月

ミス・ジョーンズ婦人団体ボウリング大会
と懇談

三月

都市対抗青年陸上競技大会

山田高校

一五 主事會
陸上競技審判員養成講習會
一七 定時制、通信教育主事會
二〇 青年演劇脚本募集要項表

二五 ミス、ジョシオン社会教育係と懇談
二七 ミス、ジョシオン婦人団体役員会
三〇 都市対抗青年陸上競技大會

山田高枝

高知縣教育委員會

四月中旬

- 1. 生徒身体検査事務打合せ
- 2. 生徒身体検査実施
- 3. 保健主事講習員講習會

四月下旬

- 1. 通信教育生徒募集
- 2. 四國四縣長務教育連絡協議會

進手前高枝

十五日—十六日

(第二回) 十五日—十八日

教育委員會

(1)

會合數 3 回

定例會 昭和25年 3 月 4 日

臨時會 昭和25年 2 月 25 日

昭和25年 3 月 15 日

討議された重要問題並に決議されたもの

定例委員會 1. 教育長受講者補次決定については利田義夫氏に決定

二月臨時委員會 1. 教育長指導主任受講者決定については原案承認

2. 現職教育協議委員會委員の任命については原案承認

三月臨時委員會 1. 高校定時制課程分校設置並に課程変更については

決議の主要なもの佐川高等學校日下分校設置並高知農業高校森分校並に本山分校に普通科増設に決定

2. 昭和25年度研究員並に留學生決定については原案承認

主催又は出席せる會合 會合名なし

場所 日時昭和 年 月 日

計画

所見

事務局

(2)

現在の機構と職員数
(各職種と権限)

課名	課長名	課員数
庶務課	安岡 登志	28 名
庶務課	楠瀬 洋吉	30 名
調査課	細木 真一郎	9 名
指導課	安岡 健次郎	15 名
社会課	西村 正男	27 名

機構又は職員の変更

なし

その他の報告

なし

教 育 長 (3)

緊急な教育目標 (経過を附すること)

1. 明年度予算に関し、縣知事と妥結に至らず、三月に於て教育委員會案を提出、縣議會用會全期間(17日間)に亘り、委員會案通過に努力す。結果については暫定的に縣知事案によることになつたが、三月についてはそれぞれ今後に於て予算を更正し、極力委員會の希望に副う旨の確約を得るに至つた。
2. 三月末教員異動方針並に異動案の作成
異動方針は確定したが、異動案は明年度予算案の議會通過がおくれのため、教員定足の決定がおくれ従つて異動案の作成は三月末においては困難であると考へられる。現在この事務は極めて多忙である。
3. 天皇陛下御巡幸に関する諸準備
各般の準備は20日に完了した。

主要な活動

1. 縣議會用會中常任議會に出席、派案の説明、答弁をなす。
2. 天皇陛下御巡幸準備のため各種會合に出席する。

出席せる會合

17日午後に於ける全口教長協議會に出席

所見

縣議會が17日間開催せられ、極めて多忙であつたが、一ヶ月間の目標を達成した。

(4)A

教務課

学校敷政 (1) 小学校、中学校

- a. 当初予算編成の時の人件費は当初3.7ベースから6.3ベース切替の途中であつたので3.7ベースの金額に1.43を乗じた額で減快されたのであつたが、実際に於て教員の切替亦はその額を上廻つて切替されたので各費目について相名の赤字を生じた。
- b. 旅費についても当初4,000円の単価で予算化されておたのであつたが、その後口庫員控金の減額(3,000円単価)にともない当初予算の減額変更は当然である。
- c. 教員の研修に対する手当てとして一人単価1,000円を考慮の必要がある。

(2) 高等学校

- a. 需要費については義務的経費(通信料、電燈、水道料、燃料費等)の値上りによつて比較的融通性のある経費(消耗品、修繕料、広告料等)より更に必要に迫られた。
- b. 高知農業高等学校に対する実業教育振興口庫補助金として7,000円の補助があつたので倍額以上の経費負担が計上されなければならぬ。

高知縣教育委員会

- c. 恩給法の改正によつて口庫員控金は当然増額を見る
- d. 教員の研究に対する手当ては小、中学校も含む

(3) 専修制高校

較的融通性のある経費(消耗品修繕料広告料等)の便に必要に迫られた。

c. 高知農業高等学校に対する実業教育振興口庫補助金と270000円の補助があつたので
倍額以上の経費負担が計上されなければならぬ。

高知縣教育委員會

c. 恩給法の改正によつて口庫負担金は当然増額を見る

d. 教員の研究に対する手当は小、中、高等学校に全し

③ 定時制高校

a. 当初予算編成當時よりも口庫補助は教員数の減と口の補助対照に若干の変更を
見たので、当初の議決予算にし変更のありは当然である。

b. 恩給法の改正による口庫納金、教員の研修に対する手当は高等學校に全し

④ 盲及がらう学校

教員の研修に対する手当は小、中、高等學校に全し

⑤ その他

a. エニセフ物資の給食指定校を市界内小学校の施設並に経費の補助
と210000円を計上する。

b. 公立學校職員共済組合交付金については、教員及びのベース改訂に
とらるる差額を計上する。

(4) B

提案又は議決と現在追加予算

費 目	提案額	議決額	備 考
3. 小学校費	14,040,000	10,605,000	
1. 職員給	9,153,000	9,153,000	
2. 諸手当	9,166,000	5,731,000	研究手当 3,435,000円は否決
3. 旅費	△4,279,000	△4,279,000	
4. 中学校費	9,902,000	7,867,000	
1. 職員給	4,580,000	4,580,000	
2. 諸手当	5,355,000	6,320,000	研究手当 2,035,000円は否決
3. 旅費	△3,033,000	△3,033,000	
5. 高等学校費	982,000	185,000	
2. 諸手当	797,000	0	研究手当 797,000円は否決
4. 需用費	70,000	70,000	
高知縣教育委員會			
5. 口庫納付金	115,000	115,000	
6. 定額制等学校費	△2,036,000	△2,243,000	
		△1,240,000	研究手当 2,070,000円は否決

5. 高等學校費	982,000	185,000	
2. 諸手書	797,000	0	研究手書 797,000円は否決
4. 需用費	70,000	70,000	
高知縣教育委員會			
5. 口座納付金	115,000	115,000	
6. 定時制高等學校費	2,036,000	2,243,000	
2. 諸手書	1,317,000	1,524,000	研究手書 207,000円は否決
3. 旅費	791,000	791,000	
5. 口座納付金	72,000	72,000	
8. 盲33學校費	47,000	0	
2. 諸手書	47,000	0	研究手書 47,000円は否決
16. 學校衛生費	100,000	100,000	
2. 學校檢査轉費	100,000	100,000	
17. 教育諸費	801,000	801,000	
3. 教育諸費	801,000	801,000	
合計	23,836,000	17,415,000	研究手書 6521,000円は否決

指導課

(5) A

指導主事の数 11 名 (うち一名嘱託)
 組織及び配置の方法
 前月に同じ

主要な活動(一覧表)

会合名	場所	日時	出席者	備考
情操教育	三瀬茅校	2月21日	70名	
教科課程	諸木中学校	2.22	75	計画所見は
生徒の自治活動	三里中学校	2.28	200	別紙
保健体育	宇佐中学校	2.23	90	
保健体育	江田中学校	3.1	67	
教科課程	一宮小学校	2.23	200	
視覚教育研究会	那田小学校	2.27	130	
特殊教育研究会	昭和小学校	3.5	170	
保健体育	和田小学校	3.3	160	
職業家庭科	那根特校	2.25	100	
保健体育	宿毛中学校	3.7	110	
職業家庭科協議会	山田中学校	3.4	50	

会議

1. 学校図書館講習会(東京 安岡課長 大倉主事出席)
2. 教科課程の調査報告会(岐阜 安岡課長出席)

指導主事の学校訪問 27校

教育上の基準又は実習の改善に貢献した主要事項

(5) B.

a. 事項 新制中学生に実施せし学力検査

b. 趣旨 問題作成委員会によって作成せし標準問題により縣下一斉に検査を実施し、その結果を集計し、将来の学習指導の資料とする。

c. 実施の具 国語、社会、理科、数学、職業家庭、英語について
 体方法 縣下中学三年生全員に対して実施した。その実施に當つては地区別管理委員会に於て自主的に運営した。

d 結果の処理

1. 成績を集計し、印刷に付して各校に配布し、指導の資料とした。
2. 学力検査の実施について、現場の評価を求めた。

e 該検査に対する評価

学校側、父兄の輿論 教育上有き義なる企画として大いに支持した。

視察した学校の主任の

近江学園 (田島指導主事)

主催した会名

会名	場所	日時	出席者	計画	所見
小学校ワーク ショップ打合せ	高知縣庁	3月15日	文部省3 県外指導 主事15 県内教員 20	1. 24年度研究会の報告 2. 研究会に対する文部省からの説明 3. 25年度学校研究集会打合せ	1. 研究会の報告は當分参考の資料 2. 準備会を持つことにより 四縣の連絡を密にした
音楽教育研究会	安芸 中村 高知	2月27、28日 3月2、3日 3月5、6日	80 60 180	音楽教育の実学と理論について	1. 音楽教育の指導要領の趣旨が明確なものであった。 2. 楽しいなどやかな会合であった。 3. 此の後の講習会が、この趣旨に沿って行われたい。

学校再編成

(6)

学校統合に関するその後の進展状況(各種の学校)
(何等進展のない場合又はあまり進展のなかつた場合この
件に関する諸問題)

特記するものなし

地方分権についての進展並に諸問題

特記するものなし

開催された会合名 会合場所

日時 昭和 年 月 日

出席者

計画

所見

(8)

生徒會

生徒協議会の主要な活動

研究集会の計画と所見録の中、高知市三里中學校、生徒の民主的自治活動を記す。

私立学校

(9)

知事又は議員による学校監督並に指導

特記す所のなし

主要な周知

特記す所のなし

朝鮮人学校

該考なし

(10)

教育の研究並に教員の研修機関
(教育研究所)

1. 教育研究所の組織又は配置

前月に合じ。

2. 教育研究所の主要な活動

- (1) 昭和25年末 研究員(12人) 講師
多学生(12人)

全上を諮問委員会において選考
教育委員会において決ま

3. 教育研究のための主要な課程

- (1) 県下教育の実態について研究(市川指導主事)

4. 教員の研修のための主な課程

- 1. 研究員の発表会(結核について)三谷研究員

(11)

大學専門學校

主要な問題

特記するものあり

主要な活動又は貢献

特記するものあり

定 時 制

(2)

校数 教員 生徒の変更

なし

授業された主要な課程

普通科 農業科 商業科 工業科 水産科 家庭科

主要な問題

二月十五日教育委員会において下記の件決定された

1. 高知農業 本山分校に普通科増設
" 森分校に普通科増設2. 佐川高校の分校として高岡郡日下村に定時制
開設(普通科)

定時制学校中主要な活動は合せぬ

特記ありなし

特別な問題

(13)

上記報告以外の学校教育に関する特別な問題についての要点並に所見、学校管理、生徒指導、職業教育、視覚教育、教科課程の研究、教育調査等を含むこと。

中学校三年学力検査集計